

オーリスシリーズ

日華化学株式会社



水洗い用加工剤

オーリスWV-32



10kgタフテナー

石油ドライ用ソープ

オーリスNS-2030



10kgタフテナー

4444

石油・パーク用加工剤

オーリスDV-16



10kgタフテナー

クリーニング・リネンの価値 機能加工



弊社機能加工の歴史







1987







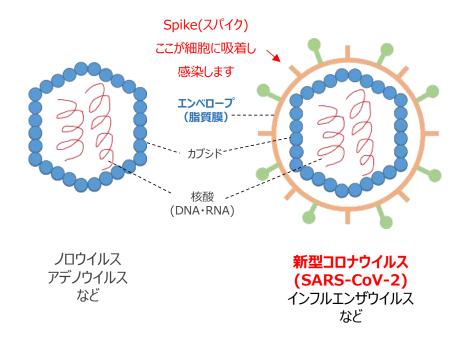
2020 抗ウイルス機能を追加して「オーリスシリーズ」のリニューアル





ノンエンベロープ・ウイルス

エンベロープ・ウイルス



ウイルスの構造は、粒子の中心にある核酸と、それを取り囲むカプシドと呼ばれるタンパク質の殻で構成されるものと、その外側にエンベロープと呼ばれる脂質膜を持つ2種類のタイプに分けられます。

今回の新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスはRNAタイプでエンベロープウイルスに属します。 エンベロープの突起が細胞に吸着し、細胞内部へ入り込むことで増殖します。

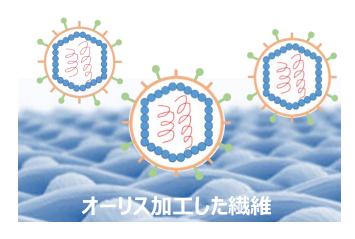
抗ウイルス作用機構

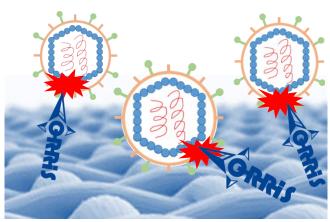


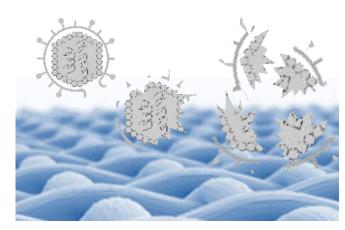
オーリスが繊維に付着したウイルスのエンベロープに作用することで、 ウイルスの数を減少させます。

1 ウイルスが繊維へ吸着

2 オーリスがウイルスへ付着し エンベロープへアタック 3 内部のRNAが露出し ウイルスが死滅する











製品名

オーリス WV-32

荷姿

10kgタフテナ容器

抗ウイルス・抗菌・防臭加工が可能

他の加工剤との併用が可能

PRTR法非該当

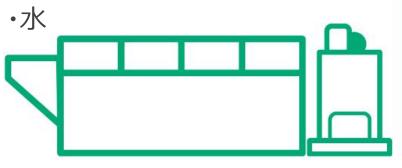
<性状>

外観: 無色透明液状

成分: 界面活性剤 (カチオン)・水

比重: 約 1.0

pH: 約 6.5 (原液)





抗ウイルス試験

JIS L 1922 (ISO 18184)

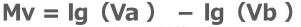


概要

繊維製品上に付着したウイルスの感染価(細胞感染性を持つウイルス粒子の数)が減少する度合いを確認します。

試験方法

- ① 試料(抗ウイルス加工品および標準布)にウイルス液を接種します。
- ② 25℃で2 時間静置します。
- ③ 培地を用いて、試料に付着したウイルスを洗い出します。
- ④ 洗い出した液を段階希釈し、プラーク法※によりウイルス感染価を測定します。
- ⑤ 次式により抗ウイルス活性値を算出し、抗ウイルス性能を評価します。



Mv: 抗ウイルス活性値

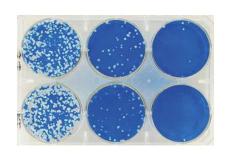
lg (Va):接種直後の標準布のウイルス感染価 (PFU/試験片)の常用対数

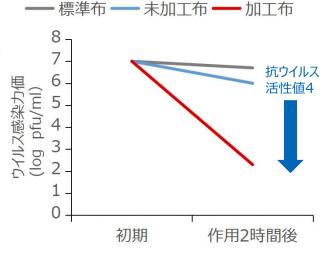
lg (Vb): 2時間静置後の抗ウイルス加工品のウイルス感染価 (PFU/試験片)の常用対数

・JISによる抗ウイルス効果

3.0 > Mv ≥ 2.0:効果あり

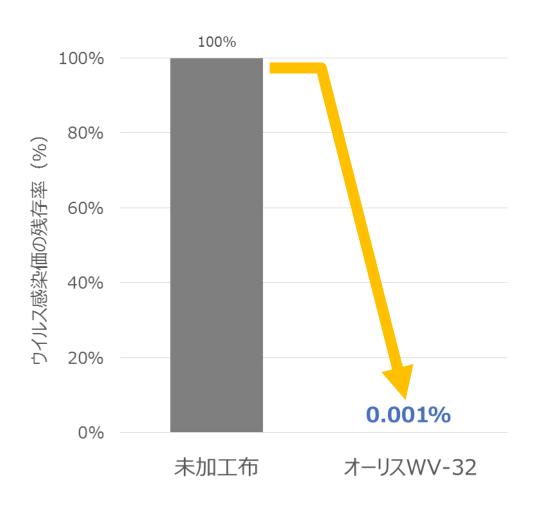
Mv ≥ 3.0 : 十分な効果あり





抗ウイルス性 試験結果





素材:綿

加工方法:浸漬 → 脱水→乾燥 (80°×2分)

処理濃度: 0.1% (v/v)

	抗ウイルス活性値 Log(Va)-Log(Vc)
オーリスWV-32	5.1

・JISによる抗ウイルス効果

3.0 > Mv ≥ 2.0:効果あり

Mv ≥ 3.0 : 十分な効果あり

生地上のウイルスを 99.999% 低減!!

JIS L1922 繊維製品の抗ウイルス性試験方法にて評価 対象 A型インフルエンザウイルス(H1N1): ATCC VR-1679



オーリスWV-32標準使用量

機械負荷量×3ml

*実衣重量ではないので注意

最終工程(糊付け、ソフター加工)で、所定量の「オーリスWV-32」を投入し、 5分ワッシャーを回転させ、均一にしみ込ませた後で脱水します (使用例)20 kg機の場合… 20kg×3ml=60ml

注意点

- ・アニオン系薬剤との併用は避けてください
- ・高温での過乾燥では、カチオン焼けによる黄変が起こる場合があります

石油ドライ用ソープ





製品名

オーリス NS-2030

荷姿

10kgタフテナ容器

抗ウイルス・抗菌・防臭加工が可能

濃縮タイプ・非危険物

水溶性汚れ除去姓

<性状>

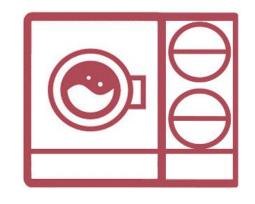
外観: 黄色透明粘液状

成分: 界面活性剤(カチオン、ノニオン)

有機溶剤、水

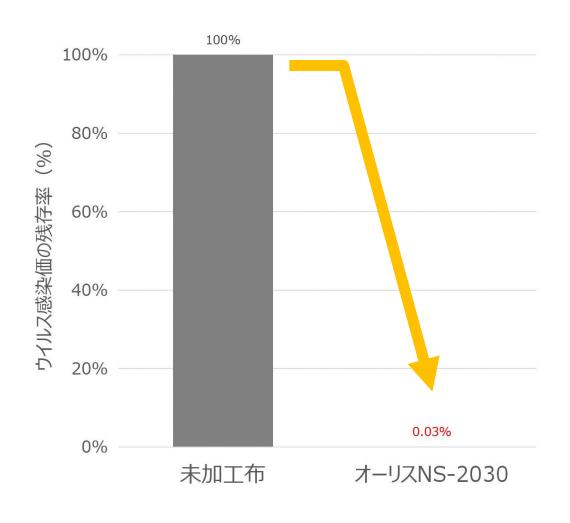
比重: 約 0.99

pH: 約 7 (原液)



抗ウイルス性 試験結果





素材:綿

加工方法:浸漬 → 脱水→乾燥(80℃×2分)

処理濃度: 0.3% (v/v)

	抗ウイルス活性値 Log(Va)-Log(Vc)
オーリスNS-2030	3.6

・JISによる抗ウイルス効果

3.0 > Mv ≥ 2.0:効果あり

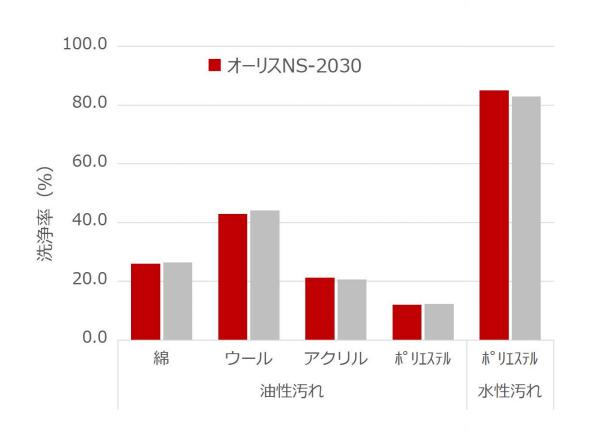
Mv ≥ 3.0 : 十分な効果あり

生地上のウイルスを 99.9%以上 低減!!

JIS L1922 繊維製品の抗ウイルス性試験方法にて評価 対象 A型インフルエンザウイルス(H1N1): ATCC VR-1679



洗浄性



機械:ラウンダ・オ・メータ

条件:常温×10分

評価布:油性、染料汚染布

油性・水性汚れ、 どちらも従来品と同等



帯電防止性 漏洩抵抗値(単位:Ω)

	ウール	アクリル	ポリエステル
オーリス NS-2030 0.3%	1×10 ¹³	2×10 ¹¹	9×10 ¹⁰
従来品 0.5%	1×10 ¹³	4×10 ¹¹	2×10 ¹ 1

ソープセンサー適正

	体積抵抗率 (Ω·cm)
オーリス NS-2030 0.3%	9.9×10 ⁸
従来品 0.5%	1.4×10 ⁹

輪じみ防止性

	ウール	アクリル	ポリエステル
オーリス NS-2030 0.3%	0	0	0
従来品 0.5%	0	0	0

いずれの性能も、従来品と同等以上

使用方法: オーリスNS-2030



 イニシャルチャージ
 0.3~0.4%チャージ
 洗いタンク、フィルター内の全溶剤量に対して

 毎回補給量
 機械負荷量×2ml

 カートリッジ交換時
 470サイズフィルター× 1.0~1.5L

使用例:20 kg機の場合

イニシャルチャージ・・・ タンク溶剤 400L ×0.3 ~0.4%=1.2 ~ 1.6 L

毎回補給量··· 20kg×2ml=40ml

注意点

抗ウイルス成分は、フィルターに吸着されやすいため、フィルター交換時の ソープ補給は確実に行って下さい。

石油・パークドライ用加工剤





製品名

オーリス DV-16

荷姿

10kgタフテナ容器

抗ウイルス・抗菌・防臭加工が可能

石油・パークにて使用可能

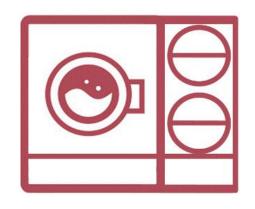
<性状>

外観: 無色~微黄色透明液状

成分: 界面活性剤(カチオン)

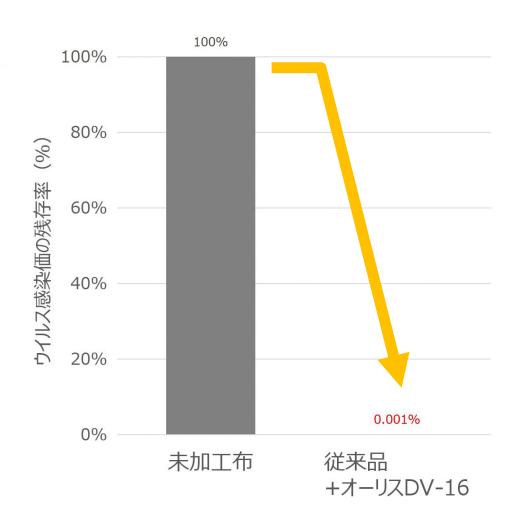
有機溶剤、水

比重: 約 0.97



抗ウイルス性 試験結果





JIS L1922 繊維製品の抗ウイルス性試験方法にて評価 対象 A型インフルエンザウイルス(H1N1): ATCC VR-1679 素材:綿

加工方法:浸漬 → 脱水→乾燥 (80℃×2分)

処理濃度: 従来品 0.5%+オーリスDV-16 0.1%

	抗ウイルス活性値 Log(Va)-Log(Vc)
従来品 + オーリスDV-16	5.0

・JISによる抗ウイルス効果

3.0 > Mv ≧ 2.0:効果あり

Mv ≥ 3.0 : 十分な効果あり

生地上のウイルスを **99.**999% 低減!!



洗浄機での使用量

機械負荷量×3ml

抗ウイルス加工剤の効果を最大限に発揮するには、1 浴ため洗い洗浄が必要となります

●石油

バッチ洗いの時にワッシャー内に「オーリスDV-16」を投入します軽く攪拌した後、品物を入れてバッチ洗浄で加工してください バッチ洗浄 $/5分 \Rightarrow$ 脱液使用例: 20kg機の場合 20kg × 3ml = 60ml

●パーク

衣類に原液がかからないようにワッシャー内に「オーリスDV-16」を投入し、 低液位でバッチ洗浄で加工してください バッチ洗浄/5分 \Rightarrow 脱液 \Rightarrow 乾燥



スプレー加工での 使用量

衣類重量(kg)×1ml 石油・パーク共通

加工液: 衣類重量に対して1mlを乗じた量を使用溶剤で、加工液濃度0.5%に

調整してください

例:衣類10kgの場合、「オーリスDV-16」10mlを石油2Lで希釈。

加工法:調整した加工液を湿った衣類にスプレー加工機で全量吹き付けてください。 スプレー終了後、5分間程度の回転(空叩き)を続け、霧が納まるのを

待って乾燥します。

使用方法 オーリスDV-16



スプレー加工

注意点

- ・石油溶剤で加工液を作成する場合、わずかに濁ることがあります。使用上は問題ないので、よく攪拌してから、そのまま加工してください。加工液の作りおきは避けてください。
- ・衣類は湿った状態で処理を行ってください。また、加工液を吸い込むと危険ですので、必ず専用機内で行ってください。
- ・タンブラーにスプレー加工機がついている機械で処理を行う場合、 通常は回転と同時にファンも作動します。スタートボタンを押しても回転だけで、 ファンが回らないようにスイッチを設定してください。



下記の表現・用語を用いると規制の対象になります。



病気の治療や予防に対する効果を明示・暗示する表現



菌種名・ウイルス種名の記載



【滅菌】【殺菌】【消毒】



ウイルスによるリスク低減

→「ウイルスによるリスク低減」 は人の身体に対する作用を意味するとされ、 病気の治療・予防や効果・効能を暗示させるため

新型コロナウイルス対策

→「新型コロナウイルス」は病原性ウイルスであり、病気の予防を暗示させるため

ソウイルスの感染を抑えます

→「感染」は疾病を前提とするものなので、効果を暗示させるため



「抗菌・防臭・抗ウイルス」

【オーリス加工】

抗菌・防臭・繊維上の特定のウイルスを減少させる加工



「抗菌・防臭・抗ウイルス」

「抗ウイルス加工」

繊維上の特定のウイルスを減少させる加工

- *全てのウイルスに効果を保証するものではありません
- *病気の治療や予防を目的としたのものではありません







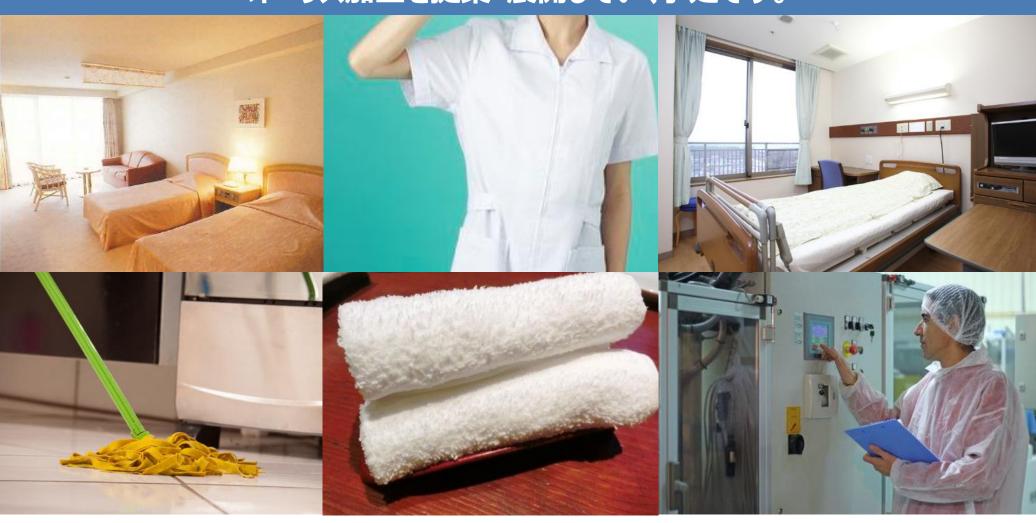


フリー素材としてロゴを作成いたしました。 必要であればご自由にお使いください。

注意!【抗ウイルス加工】と謳われる場合には、但し書きの追記が必要となります。ロゴに加えた但し書きをご参考ください。



今後、クリーニングに関わるあらゆる商材に向けて、 オーリス加工を提案・展開していく予定です。



Activate Your Life

